

調査、予測及び評価の手法

- 2 予測及び評価手法

1) 工事中

項目	工事により発生する廃棄物の種類、量
予測	予測地域: 会場候補地内の工事箇所 予測時期: 会場建設の工事期間 予測方法 (1) 廃棄物の種類、量建築廃材、伐採木の発生量について、工事計画、類似事例等を参考に推定し、処理・処分の方法について明らかにすることにより予測を行った (2) 残土の量発生する残土の量について工事計画をもとに推定し、処理・処分の方法について明らかにすることにより予測を行った。
評価	廃棄物の発生による環境への影響が実行可能な範囲内で回避又は低減されているかについて評価を行った。

2) 供用時

(1) 廃棄物

項目	会場で発生する廃棄物の種類、量及び施設からの排水処理において生じる有機汚泥の量
予測	予測地域: 会場候補地内の工事箇所 予測時期: 博覧会開催期間 予測方法 (1) 廃棄物の種類、量建築廃材、伐採木の発生量について、工事計画、類似事例等を参考に推定し、処理・処分の方法について明らかにすることにより予測を行った (2) 廃棄物の種類、量 会場で発生する廃棄物の種類、量について、事業計画、類似事例等を参考に推定し、処理、処分の方法について明らかにすることにより予測を行った
評価	廃棄物の発生による環境への影響が実行可能な範囲内で回避又は低減されているかについて評価を行った。

(2) 水循環

項目	博覧会開催期間中の目的別水使用量、水の供給量・方法、排水量・方法等
予測	予測地域: 会場候補地 予測時期: 博覧会開催期間 予測方法 ・ 会場における目的別水使用量、会場への水の供給量・方法、会場からの排水量・方法等について、事業計画、類似事例等を参考に推定することにより予測を行った。
評価	廃棄物の発生による環境への影響が実行可能な範囲内で回避又は低減されているかについて評価を行った。